



新富士ロータリークラブ会報

ROTARY CONNECTS THE WORLD

— ロータリーは世界をつなぐ —

R I 会長 マーク・ダニエル・マローニ
第2620地区ガバナー 安間みち子
新富士 R. C. 会長 堀井健治
幹事 長原 幹

事務所：富士市平塚本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30~13:30



第1368回例会 (2020. 6. 27)

期末例会



司会 稲葉 邦文会場監督
ソング 「我等の生業」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和

R I テーマ唱和

会長挨拶

6月18日に、当クラブの原睦雄さんが亡くなられました。享年76歳でした。新富士ロータリークラブにとってとても大切な人を失ってしまいました。心からお悔やみ申し上げます。

私が会長になって初めての例会は、昨年7月9日の期首クラブ協議会でした。

新型コロナの影響で3月24日の例会が最後となり、3ヶ月間、すべての行事予定がキャンセルとなり、今日が来てしまいました。「楽しい仲間の輪を広げよう」という運営方針を掲げてスタートしましたが、何となく元気が出ないまま終わってしまって申し訳ありません。

新型コロナの状況は、6月28日午後10時現在、静岡県の感染者数80人、死亡者数1人、回復者数74人で、富士市は感染者数7人です。日本全体では死亡者数が968人で、流行への抑えが効いているように見えます。最近では、街にも徐々に人が出るようになってきましたが、まだまだ景気は回復してはいません。

しかし、新型コロナは今も世界中で猛威を奮っています。世界全体の感染者数は9,608,814人、死亡者数489,405人だそうですが、アフリカなどの発展途上国では感染の実態がまったく把握されていないので、どのくらいの死亡者がいるのか分かりません。

私が生まれたのは1959年です。私が今まで身近に感じた世界的規模での騒動というと、1973年第4次中東戦争をきっかけに起こった第1次オイルショックがありま

した。当時中学生だった私は、テレビのニュースで世の中大変なことになっているなどと思ったのをよく覚えています。子供だった私の生活にはほとんど影響がなかったと思います。最近では2008年9月、アメリカのリーマンブラザーズの経営破綻から始まったリーマンショックがあります。この時は、日本は日本だけで生きているのではない。他国でのことが引き金になり、ある日突然災難の渦に巻き込まれる危険を感じました。

今回の新型コロナの問題は、感染症による恐怖と、経済活動の停滞による不況という、あちらを立てればこちらが立たずという状況になってしまっています。今後、ワクチンや治療薬が開発され、人々の手に渡るまでの間、感染症対策と経済活動というトレードオフの関係にある2つのバランスをどのようにとっていくのか、これからの生活が大切ではないでしょうか。

今年の R I テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」ですが、今、世界は分断されてしまっている状況です。また手をつなぎあえる時が来るまでの間、私たちは、心の中では手をつないでいきましょう。

そんな中、明るい話題としてスーパーコンピューター「富岳」のニュースがありました。計算速度で世界一になり、そのほかの部門も合わせると4冠で、これは世界初だそうです。やはり、世界2位でなく世界1位というのは嬉しいものです。早速富岳には新型コロナの治療薬の選定での活用が期待されているそうです。

私の会長としての挨拶はこれで最後になりますが、明るい話題で終わってよかったと思います。



会長挨拶
堀井健治会長



幹事報告
長原 幹事

プログラム予定

7月14日(火) ガバナー補佐公式訪問

7月28日(火) ガバナー公式訪問

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1368回	18	13	5		暫定72.22%

《本日の欠席者》

齊藤 寛明君 稲葉 邦文君 潮来 克士君
仲澤 千尋君 高橋 孝行君

私のスマイル

- 赤渕 浩雄君 先月は妻にお花を有難うございました。堀井会長、長原幹事、一年間ご苦労様でした。
- 渡邊 哲男君 大変なとき、一年間御苦労様でした。
- 久保田元久君 久しぶりです。コロナウイルスでたいへんですね。
- 長原 幹君 2019～2020年度はコロナで予定がバラバラになり、本日集まったのはうれしいです。
- 本多 脩身君 次年度、宜しく願い申し上げます。
- 渡邊 勝英君 新型コロナウイルスで生活が一変しました。一日も早いアフターコロナの新しい日常となります様に。
- 和田 三郎君 堀井会長、長原幹事、1年間ご苦労様でした。
- 小山 哲君 堀井会長、長原幹事、一年間ありがとうございました。

- 川村 武君 堀井会長、長原幹事、1年間御苦労様でした。新型コロナ感染症で常識が変わり大変でしたね。
- 木村 憲司君 堀井会長、長原幹事、今年は後半はコロナにやられてしまい、最後の例会がなんとか開かれて良かったです。1年間ご苦労様でした。
- 堀井 健治君 皆さん、1年間ありがとうございました。

会長幹事 引き継ぎ



最多スマイル賞表彰

クラブ協議会

2020-2021年度クラブ運営方針および目標

何事もチャンスとして捉えよう



新年度会長 梅谷 明子

こんばんは。
引き継ぎ式も終わり、今年度会長幹事はホッとされているかと思いますが、次年度を控えた私はドキドキです。次年度に向けた2020～2021年度のクラブ運営方針及び目標をお話いたします。
本来ならば5月の新旧委員会引き継ぎ式例会にてお話しする予定でありましたが、コロナ禍の中、休会となり発表が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。
また、各委員会をはじめとする委員長、副委員長、委員の方々には、昨年の年次総会から変更があったこと、原さんがご逝去されたことにより、クラブの構成に一部変更があったことをご了承ください。

ご縁があり、新富士ロータリークラブに入会させていただき、まだまだ未熟な私ではありますが、会長としての職務を頑張りたいと思います。

2020～2021年度のRI会長、ホルガー・クナーク氏の年度テーマは『ロータリーは機会の扉を開く』。その中で、「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく無限の世界への招待であり、ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや一本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます」と語っております。

「機会」の意味を調べると、「ある行動をするのに最も良いとき」、「おり」、「チャンス」とあります。

先日、新の会長幹事会が行われました。その中で各クラブの現況報告の交換があったのですが、改めて新富士ロータリークラブの活動である、「おきがる無料相談」、「サイエンスプロジェクト in Fuji」、「施設訪問」など、これだけの活動をされているクラブは他にありませんでした。

荻原ガバナーエレクトは、機会の扉を開く新しいことに挑戦してください、と電話会談の時におっしゃっていましたが、継続事業に少し変化をもたらすことによって、新しいチャンスを掴むことができる挑戦でも良いかな？と考えております。

これから先、コロナ感染の第二波、第三波…と先行きが不透明な中、活動自体どうなるか？わかりません。

問題が発生した場合は、理事の方々と基軸となる“新富士ロータリークラブ細則”にのっとり判断し、会員の皆様にはご連絡いたします。